

# おおふなと 社協だより

 ふれあいネットワーク



2020年8月号

【特集】ちょっとした「困った」を解決します  
高齢者等日常生活支援事業… 2～3

越喜来小学校出前講座……………	4
高齢者買い物送迎車運行事業……………	4
令和2年7月豪雨災害義援金 ～赤崎中学校募金活動～……………	5
お仕事ステップアップ講座……………	5
お知らせ……………	6～7
輝き人……………	8



## 今月の表紙

わた なべ ゆう ひ  
渡 辺 勇 飛さん  
り ま ゆ  
と 真 優さん  
璃 叶ちゃん(3歳)





【事業実施件数の推移】

	草刈り	窓ふき	両方	合計
平成30年度	2	8	14	24
令和元年度	5	15	2	22
令和2年度	7	2	0	9

※令和2年度は7月末現在

**○サービスの狭間を埋めるために**  
 社会福祉協議会では、高齢や障がいのために、草取りや草刈り、窓ふきをする人が大変な人を対象に、「高齢者等日常生活支援事業」を行っています。  
 介護保険や障害福祉サービスなどの公的サービスでは、調理や洗濯などは日常生活に必要不可欠なものとして対象とされています。一方で、草取りや草刈り、窓ふきは、それらに該当せず、対応することができません。  
 そのような公的サービスで対応できないニーズに対応し、地域で安心して生活し続けられるお手伝いをしています。

- 申請に必要なもの**  
 サービスを受けるために、次のものを提出していただきます。
- ① 申請書
  - ② 世帯全員の年齢が確認できる書類の写し（免許証、保険証等）
  - 【対象者が75歳未満の場合】
  - ③ 障害者手帳などの写し
  - ④ 介護保険被保険者証の写し

**【障がいとは】**  
 身体障害者手帳や療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、自立支援医療受給者証など各種手帳、およびこれらに準ずるものを所持している人

- 対象世帯**  
 サービスを受けることができる人は次のとおりです。  
 大船渡市内に住所があり、現に住んでいる人で次のいずれかに該当する世帯。
- ① 世帯全員が75歳以上の世帯
  - ② 障がいがある人および75歳以上の人のみの世帯
  - ③ 要介護認定が要介護2以上の人および75歳以上のみの世帯

よくあるポイント Q & A

- A Q** 利用料はかかりますか？  
 利用料は無料です。ただし作業従事者は専門業者ではないことをご了承ください。
- A Q** 申請からどのくらいで作業をしてくれますか？  
 2週間ほどで作業をします。
- A Q** この事業は1年に何回まで利用できますか？  
 特に決まっていませんが、できるだけ多くの人に利用してもらいたいため、申請者が多い場合は、新規申請者を優先させていただきます。
- A Q** 草刈り、草取りをした後の草を引き取って処理はしてもらえますか？  
 処理については対応していません。また、取った草を集約する場所を決めておいてください。
- A Q** 80歳の母と50歳の長男の2人暮らしですが、対象になりますか？  
 母は該当しますが、50歳の長男が元気であれば該当になりません。世帯全員が、該当している必要があります。

## 【申し込みから作業実施までの流れ】

1

申し込み 問い合わせ  
(0192-27-0001)

電話や来所、家族、関係機関からの申込などいずれの方法でもかまいません。



2

現場下見

作業人数や必要な道具は何か、気を付けることはあるかなど、訪問し確認します。



3

作業従事者の調整

当日、作業に参加可能な人を調整します。この部分に多くの時間を要します。



4

作業実施

半日～1日をかけて作業を実施して終了となります。



## 【解決のイメージ】（草刈り作業の場合）



草が生い茂っていましたが…（作業前）



作業をすると…



きれいになりました！（作業後）

てくれていました。今年も、新型コロナウイルスの影響で帰省ができなくなったので、担当のケアマネジャーが勧めてくれました。すごく丁寧で、綺麗にしてもらって大変ありがたかったです。



伊藤彌生さん  
(92歳 日頃市町在住)  
高齢で足腰も弱  
いので、今までは、  
月に1回帰省する  
息子が草刈りをし

くれていました。今年も、新型コロナウイルスの影響で弟が帰省出来なくなってしまう、どうしようかと思っていたところ社協だよりでこの事業を知り頼みました。普段やらない欄間の窓まで拭いてもらって感謝感激です。



岩城鉄郎さん  
(90歳 越喜来在住)  
今まで、窓ふきは自分自身でやったり、東京に住んでいる妻の弟が帰省した際にやって

利用者の声

障がいへの理解と気づきを醸成

## 越喜来小学校出前講座



社会福祉協議会では、市内小中学校や事業所、地域住民などを対象に出前講座を開催しています。今回の出前講座は、大船渡市立越喜来小学校（鈴木直樹校長）4学年13人が対象。

音声訳オープンハート（菊池まゆみ代表）を講師に、視覚障がいを持つ人の生活やそのサポート方法、情報収集を支援する音声訳活動について実際の体験を交えながら学びました。

視覚障がいを持つ人は目が不



90分の間に教え切れないほどの気づきが生まれました

自由でも積極的に外に出て、カラオケやスポーツなど楽しんでいふことや、食事のサポートをするときは、時計の文字盤に見立てて、食器の位置を教えるとかわりやすいことなどが話され、生徒たちは驚きと納得の声を上げながら、熱心に聞き入っていました。

また、音声訳や移動介助体験では、障がいを持つ人の気持ちになりながら、話し方や接し方などを生徒それぞれが考え、工夫している姿が見られました。

参加した古水美優さんは、「目の見えない人でも卓球やカラオケ、料理などしていると聞いてとても驚きました。少しでも障がいを持つ人のお手伝いをしたかったという思いからオープンハートの活動が始まったという話を聞いて私も目の見えない人にお手伝いをしたいと思いました」と感想を述べてくれました。

社会福祉協議会では、引き続き出前講座の開催に取り組んでいきますので、お気軽にご相談ください。

地域住民の声を形に

## 高齢者買い物送迎車運行事業



吉浜地区助け合い協議会（伊藤信也会長）では、7月から「高齢者買い物送迎車運行事業」を開始しました。

この事業は、地区内に生鮮食品を購入できる商店が少ないことや、高齢者の移動手段に対する地域住民の声を受けて始まったもので、毎週金曜日、利用者の自宅から立根町の商業施設までワゴン車を運行しています。

事業における車輛の提供と運行は、同地区内の障害者支援施設「吉浜荘」が協力。また、車輛へ

の乗り降りや買い物の支援は住民ボランティアが担っており、地域が一丸となった取り組みとなつていきます。

利用は「買い物ドライブサロン」（白木澤節会長）に登録している人が対象で、利用希望日の前日までに当日添乗するボランティアへ連絡することで利用できます。

7月24日（金）の利用者は2人。利用者の渡辺栄子さん（83）は、「身内の送迎で出かけた時にまとめ買いすることが多かった。外出が好きなので、この事業が始まると聞いて、いの一歩に申し込んだ」とのこと。ボランティアの木村みゆきさんは「民生委員をしているが、地域住民のお手伝いになればと参加している。将来的には自分にも必要になることだと思う」と話してくれました。

新沼秀人事務局長は「利用者、ボランティア共に喜ぶ顔が一番嬉しい。細く長く続けていきたい」と話してくれました。問合せは新沼事務局（090-1974015414）まで。



車の乗り降り、買い物にはボランティアが同行してくれます

## 被災地復興の力になりたい 令和2年7月豪雨災害義援金 赤崎中学校募金活動



近年、毎年のように集中豪雨や台風による大規模災害が全国各地で頻発しています。今年も7月3日からの豪雨により、九州全域で河川の堤防決壊による洪水や土砂崩れなどの災害が発生しました。

これを受け、赤崎中学校では、東日本大震災で多くの支援をいただいた恩返しをしたいという思いから、発災後すぐに生徒会の発案により募金活動に取り組みました。



被災された人たちのために、自分たちの気持ちを届けます

7月28日(火)には、学校を代表して生徒会長の志田隆祥さん(3年)、副会長の亘理有沙さん(3年)、次期会長の佐藤千秋さん(2年)により、大船渡市共同募金委員会に義援金が届けられました。

7月20日(月)から7月28日(火)までの5日間、生徒会役員が昇降口で登校生徒に対し、募金の呼びかけを行いました。

志田会長は、「少しでも九州の復興の力になってくれれば嬉しい」と話してくれました。

今回寄せられた金額は39,813円で、中央共同募金会を通して、全額被災者へ届けられます。

大船渡市共同募金委員会では、引き続き「令和2年7月豪雨災害」で被災した人への義援金を受け付けています。ご協力よろしくお願ひします。

○受付場所 大船渡市Y・Sセンター  
○その他 救援物資、物品は取り扱いません。

## これまでの自分と向き合い、新たなステージへ お仕事ステップアップ講座



就労準備支援事業では、グループワーク、ボランティア活動、講座への参加を通じて地域社会とのかかわりを持つことの大切さを学びながら就労に繋げるための活動をしています。

今年度新たに、7月からキャリアパートナー今野良子先生を講師に迎え「お仕事ステップアップ講座」を開催しています。この講座は、「仕事をする意味」について考え、さらに「自分自身のことを知る」ことで、なりた

自分に近づくことを目的としています。自分と向き合うことは難しい作業ですが、これまでの成功や失敗の経験を振り返ること、今後の課題を自覚することができた様子でした。

今野先生は「やりたいこと、できることを自分の中から引き出すことが大事」と話し、参加者が抱えている不安や思いに寄り添いながらアドバイスしていました。

受講した参加者は「これまで自分自身のことを見て見ぬふりをしてきたと気づき、今後のことを考えるきっかけになりました」と、「自分のやりたいことは何かを考える機会になりました」と話してくれました。

この講座は全5回で構成され、それぞれの学びの段階に応じた求人票や応募書類のポイント、面接練習等の講義を行います。なにかから始めたらよいか分からない人や就労に対して不安を抱えている人、講座に興味のある人は社会福祉協議会までご連絡ください。



一人ひとりの気づきを丁寧にサポートします

**対 象** 介護サービス分野での業務経験がある人、介護の資格を持っているが、現在介護業務に従事していない人など

**定 員** 10人

**参加費** 無料

**申込・問い合わせ先**

岩手県福祉人材センター 坂本さん

電話 080-8201-0200

メール n-sakamoto.shakyo@mopera.net

※感染防止対策を講じたうえで開催しますが、状況により延期または中止する場合があります。

## 介護のしごと相談

キャリア支援員が介護の職場に就職したい人などの相談に応じます。

相談及び講習についての問い合わせ・申込は下記までご連絡ください。

### 介護のしごと相談日程（9月）

開催日	場 所	時 間
7日(月)	大船渡市Y・Sセンター	午前9時～午後3時
10日(木)	ハローワーク大船渡	午前10時～正午
14日(月)	大船渡市Y・Sセンター	午前9時～午後3時
17日(木)	ハローワーク大船渡	午前10時～正午
24日(木)	ハローワーク大船渡	午前10時～正午

**申込・問い合わせ先**

岩手県福祉人材センター 坂本さん

電話 080-8201-0200

## ほいくしカフェ

保育士の再就職について、不安なことや知りたいことをコーディネーターや同じ思いを持つみなさんとお話してみませんか？保育士の仕事に関する情報提供も行います。ブランクのある人や保育の仕事をするか迷っている人、お子様連れも歓迎。(託児はありません)

**日 時** 9月10日(木)  
午前10時30分～正午

**場 所** ハローワーク大船渡 会議室

**対 象** 保育士資格を持っていて、現在保育士として働いていない人

**参加費** 無料

**申込期日** 9月9日(水)正午まで

**申込・問い合わせ先**

岩手県社会福祉協議会

保育士・保育所支援センター 担当 山田

電話 019-637-4544

### \* Y・Sセンター情報

## 筋力測定会

1分間で筋肉量、体脂肪量、水分量等がわかる筋力測定会を開催します。コロナウイルス感染症拡大防止のため、予約制で人数に制限を設けての開催となります。下記まで事前にお申込み(電話予約も可)ください。

「募集」「イベント」「お知らせ」など暮らしに役立つ情報をお届けします。



**申込・問い合わせ先** 大船渡市社会福祉協議会  
電話 0192(27)0001(代表)

イベントについては新型コロナウイルス感染状況により中止となる可能性があります。

### \*子育て支援事業情報

## つどいの広場内イベント

下記の日程でイベントを開催します。お気軽にお越しください。

### つどいの広場イベント日程（9月）

開催日	内 容	時 間
3日(木)	はじめてさんの日	午前10時～午後2時50分
10日(木)	ぼうさいカフェ	午前10時20分～午前11時50分
17日(木)	子育て相談の日	午前10時～午後2時50分
	ハローワーク出張おしごと相談会	午前10時～午前11時30分
24日(木)	栄養相談会	午前10時20分～午前11時50分

## おでかけひろば

出張「つどいの広場」です。乳幼児の子育てをしている人ならどなたでも利用できます。

**日 時** 毎週火曜日

【午前の部】午前10時～午前11時50分

【午後の部】午後1時～午後2時50分

※正午に和室を消毒するため、その前に退出するようご協力お願いします。

**場 所** おおふなぼーと2階和室

※慢性・先天性疾患、低体重出生児、発達障がいなど配慮が必要なお子さんのためのおでかけひろば「ゆるり」は、9月16日(水) (午前10時～午前11時50分)に開催します。

### \* 岩手県福祉人材センター情報

## 介護技術おさらい講習

介護技術をおさらいしてみませんか？介護求人への動向や介護技術講習を実施し、再就職の支援をします。受講を希望する人は事前にお申込みください。

**日 時** 9月9日(水)午後1時～午後4時30分  
(受付は午後0時30分から)

**場 所** 大船渡市総合福祉センター

\*共同募金情報

## 令和2年7月豪雨災害義援金の募集について

令和2年7月の大雨災害により、各地で人的被害をはじめ、堤防の決壊による住宅への浸水被害、土砂崩れによる家屋の倒壊などの甚大な被害が発生しました。

大船渡市共同募金委員会では、被災された人々に対する義援金を受け付けています。  
**受付期間** 7月13日(月)～12月28日(月)  
**受付場所** 大船渡市Y・Sセンター  
**その他** 救援物資、物品は取り扱いません。

## 災害義援金受入(7月) (敬称略)

令和2年7月豪雨災害義援金  
 大船渡市立赤崎中学校  
 熊本県南豪雨義援金  
 匿名



\*その他

## 寄付・寄贈の受入(7月分) (敬称略)

復興支援金  
 特定非営利活動法人花たば  
**寄付物品**  
 匿名 (タオル類)

**日時** 9月5日(土)  
 ①午前の部 午前10時～正午  
 ②午後の部 午後1時～午後3時  
**人数** 午前、午後各22人ずつ  
 ※申込多数の場合は先着順になりますのでご了承ください。

**場所** 大船渡市Y・Sセンター  
**参加費** 無料  
**申込・問い合わせ先**  
 社会福祉法人 大船渡市社会福祉協議会  
 電話 0192-27-0001(代表)

## 第1期(9月～10月)トレーニング教室

下記の日程でトレーニング教室を開講します。事前申込みが必要です。

**場所** 大船渡市Y・Sセンター  
**受付期間** 8月21日(金)～8月28日(金)  
**受付時間** 月曜日を除く平日9時～午後3時  
**受付方法** 申込書と受講料を添えて申込み(電話での申込みは不可)

**その他** トレーニングルーム、会場利用料別

教室名	開催日	定員	受講料
筋力 トレーニング (水曜クラス)	9月2日～10月28日 10月14日を除く 毎週水曜日(全8回) 午後1時30分～午後2時30分	15人	800円
筋力 トレーニング (金曜クラス)	9月4日～10月30日 毎週金曜日(全9回) 午後1時30分～午後2時30分		900円

## 今月の表紙

渡辺 勇飛さん  
 真 優さん  
 璃 叶ちゃん  
 (盛町在住)

いつもふざけてばかりの璃叶だけど、11月にはお姉ちゃんになります。二人仲良く元気に育ててね!



## 我が家のペット

### 我が家の「ハッピーちゃん」

元気いっぱいの子、ハッピーです。  
 里親になって3年目。6月に3歳になりました。

盛町 ペンネーム ハッピーぴさん

カメラ目線が決まってる～  
 元気にたくさん遊んでね!



## 投稿写真大募集!

投稿方法は3つの中からお選びください!

- ①写真データをメールする  
ooshakyo@cocoa.ocn.ne.jp に添付
- ②写真を郵送する  
〒022-0002  
立根町字下欠125-12「Y・Sセンター」内  
大船渡市社会福祉協議会「我が家のペット」係
- ③本会に直接写真を届ける

①～③ 共通

- ・一言説明コメント
- ・名前(ペンネーム可)
- ・住所(町まで可)を必ず添えてください。

次号締め切り  
 9月4日(金)

どしどしご応募ください!

※投稿作品は返却しませんので予めご了承ください

# 輝き人

こにし か え  
小西 佳 恵さん(44歳)

立根町在住。  
居宅介護支援事業所「ケアプラン大船渡南」  
を開所し、管理者として働いている。



## 大切な人の生活を支えていきたい

### ○関わり方を学びたい

2019年8月より丸森デイサービスセンターで働き始めました。まず初めに感じたことは、職員のみなが常に一人ひとりのご利用者に対し、目や心を配り、「自分の親、身内を預けたらどんな風に関わってほしいか」など自分に置き換えて、真剣にご利用者やご家族と関わっているのにとても感心しました。そのような姿を見て、一からこの事業所で学びたいと思いました。

### ○ご利用者と

#### ご家族の思いを大切に

ケアプラン大船渡南は、介護の必要な人に在宅での生活を継続するための支援の方法を提案し、居宅ケアプランを作成するケアマネジャーが常勤している事業所です。開設したばかりですが、介護に悩んでいる人を一人でも多く手助けし、ご利用者とのご家族の思い

を大切にする事業所でありたいと思っています。

### ○相談しやすい環境を

病気などにより介護が必要になっても、多くの人は住み慣れた家での生活を望んでいます。ケアマネジャーはご利用者やご家族の話を聞きながら、「何ができて、何ができないのか」を検討し、今必要とされているサービスを組み合わせさせてケアプランを作成します。

介護の相談の中には、本当は話したくないデリケートな問題にも触れることがあります。ご利用者やご家族は遠慮し、伝えたいことの半分も話せない場合もあると思います。

「聞く姿勢」「話しやすい態度」を大切にすること、そして今何を必要としているのかを一緒に考える気持ちを大切にすることを心掛けていきたいです。

### ○安心して暮らせる生活のために

人生の先輩であるご利用者の皆さんから学ぶことはとても多く、その中でもデイサービスを利用してくれているご利用者からは、お互いに敬う気持ちや言葉、相手の人への気遣いや優しさを感じています。

自分自身も身体的に大変なことがあるはずなのに、自分のことより他の人の心配をしてくれる、そんな姿を毎日のように見せてくれるお年寄りには、これからも元気で笑顔のある生活を送っていただきたいと思っています。

私はケアマネジャーの仕事を通して、どこまでその人を支援できるか、日々葛藤の連続です。私自身未熟な部分も多く、迷惑をお掛けしながらの仕事になるかもしれませんが、その人が安心して暮らせる生活の一助となれるよう努めていきたいと思っています。